



シルバー通信

第 号 (平成 29 年度)
発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会
連絡先 (理事長宅)：
〒540-0024
大阪市中央区南新町 1-3-11 高分子工学ビル 303
FAX： 06-6941-6568
ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>



新任のあいさつ

大阪府SA連協 理事長 新鞍 清彦 (大阪市SA 平成 22 年)

4 月に就任しました新鞍です。微力ながら大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 (以下、府 S A 連協と表現) の発展に努める所存ですので、皆様方のご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

今年度の府 S A 連協の活動方針について説明し新任のご挨拶と致します。

府 S A 連協の平成 29 年度活動方針は『地区 S A の活性化への貢献活動』です。

府 S A 連協は「地区 S A が元気になるように作られた組織」であると理解します。そのためには地区 S A が活性化する方策は、①地区 S A の情報を吸い上げること、②府 S A が持っている情報と交換し合うことで、お互いの組織の相乗効果が期待されます。そのためには遠方から理事会に参加される地区 S A の参加者に有意義であったと感じていただける理事会を目指したいと考えます。

「地区 S A の活性化の為の府 S A の行動計画」

- 1、理事会の 2 時間中、1 時間は地区 S A の発表会か講演会に使い、残りの 1 時間は今までの通りの報告会とします。
- 2、ブロック会議で地区の悩みや問題点を共に話し合い解決策を見つけるよう努めます。
- 3、S A 活動の宣伝の為、行事の際には横断幕か幟を掲示するよう努めます。(幟や横断幕の掲揚運動)

- 4、大阪府 S A の最大の財産は「おもちゃクラブ」「歌体操クラブ」の認識の下活動の輪を広げ、新規貢献先の開拓に努めます。
- 5、地区 S A の活動の源泉である助成金取得が大きな動機付けになります。助成金の情報や取得についての相談に応じるように努めます。

「関連組織との関係の深化」

- ① S A 認定機関の大阪府高齢者介護室との月 1 回の報告など行い情報取得に努力する。又両者の関係強化することで S A を理解いただき、有効な助言の頂く様努力に努めます。
- ② 高大と校友会の関係強化を図ります。高大 3 階の広報コーナーに受講生向けに、府 S A 連協専用のラックを設置し地区 S A の広報チラシを置き、受講生の地区 S A の認知度を高め新入会員の増加を図る様努めます。
- ③ ONCC (NPO 法人大阪府北部コミュニティ

一カレッジ)との関係強化して新規入会者の増員を図る様努めます。

ONCCには待ちの姿勢ではなく交流授業等をこちらから企画提案をして実現したい。

④歌体操フェスタ、ブロック交流会等、各地区S Aに魅力ある活動を模索し具体化するよう努めます。

⑤他の組織と共催イベントを模索し、具体化し定例化にする様努めます。(例:ATCおもちゃフ

ェスタ)

各地区S Aの皆様へ

地区S Aの皆様にかかれては、会員の高齢化が進む中で、新入会員の加入が叫ばれている現状を打破するには、地区S Aの魅力ある活動が肝要です。各地区S Aの理事さんを通じて、府S A連協に具体的な提案をお願いします。他の地区S Aも其の成功例を参考にし、具体化して魅力ある地区S Aを作る努力をしましょう。

28年度活動報告

I. 事務局

事務局長 中島 英征 (SA 茨木 19 年)

1. 運営全般

S A連協会員数の推移は退会者 88 名、新規入会者 99 名で 11 名と微増しました。各地区S Aの実情は相変わらずの新規入会者不足と会員の高齢化に苦慮している状況です。

平成 28 年度活動方針の結果について以下に報告します。

① 「地区S Aの活性化への貢献」について

- ・理事会では各部会の報告主体から、各地区との情報交換にシフトするように努めた。しかしながら、高大イベント他の対応に追われ十分な情報交換はできなかった。
- ・各地区S Aにおける新会員勧誘事例紹介。
- ・地区S Aの新会員の居場所づくり事例紹介等を行った。

② 行政機関との関係強化について

- ・大阪府高齢介護室 介護支援課との会合を実施し、今後定例会合をする道ができた。S Aの所管部署である同課との会合が引き続き重要である。
- ・同課との会合により 6 地区S A (箕面、羽曳野、池田、豊中、四条畷、藤井寺)を府知事が『ニッセイ財団の生き生きシニア活動顕彰』に推薦申請してくれた。

③ 新規取組案件としてのS A連協全地区S Aが参加しての催しについては、会場面、費用面、時期いずれも難しい面があり開催は困難との結論となった。

④ 関連団体との交流は各部会に詳述しているので省略。

その他特記事項

- ⑤ S A東大阪が会員減少の為、解散となった。
- ⑥ 岸和田市で地区S Aを立ち上げる兆しがでたが、推進者が病気になりストップしている。次年度への申し送り事項としたい。

2 会務運営

1) 会議の開催状況

① 理事会；毎月一回（原則 第一木曜日）開催した。会場は、原則 大阪福祉指導センターを使用した。申込の抽選負けとなり、大淀コミュニティセンター（5 月）と吹田アイワステーションビル（11 月）を使用することもあった。

理事会では、外部団体、3 部門会およびブロック交流会からの報告、連絡が多かったが、審議案件があったのは、次の通りであった。

4 月 第 1 号議案 平成 27 年度活動報告

第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告並びに監査報告に承認を求める件

第 3 号議案 平成 28 年度役員選任の件

5 月 第 1 号議案 平成 28 年度活動計画(案)承認の件

第 2 号議案 平成 28 年度会計収支予算(案)承認の件

その他としては以下の通りであった。

5 月 大阪府高齢者介護室の紹介 植澤副主査

6 月 講演会「今から始める介護予防」宮田彰典氏

新旧理事懇親会6/2 於：松崎屋

7 月 地区 S A 会員動向表報告について

11 月 ニッセイ財団「生き生きシニア活動顕彰」について…6 団体選出

1 月 「福島からの報告」吉川裕子氏

理事会新年会1/5 於：パル法円坂

今後は

- ・各地区 S A の行事の発表を通じてお互いに学ぶようにする。
- ・講演会の機会を多くする。（地区 S A から講演の情報がほしい）

部門会とブロック交流会については部門会を偶数月に、ブロック交流会を奇数月に理事会に併せて開催した。

③ 役員会

役員会は、理事会の後に理事会で出された課題の整理と次月理事会への提案検討が主に議論された。

各部門・部会の活動報告

Ⅱ. 渉外部

部長 新鞍 清彦（大阪市 SA 22 年）

渉外部は対外折衝部会、福祉 IT 部会、都市環境部会の 3 部会体制にてスタートした。この部は、次の 2 点を目標とした活動を行った。

1. 行政機関や外部団体と積極的に交流を図り、府 SA 連協の PR を行う。

2. 高大、校友会、ONCC、区民カレッジ、大阪アクティブシニア協会に参画し、交流を図りながら修了生にSAへの入会を促進する。

対象が多いので、担当を決めた。高大校友会（新鞍）、ONCC（笹原）、区民カレッジ（新鞍）、アクティブシニア協会（笹原他）、大阪府高齢介護室は（新鞍他）とした。

1. 渉外部

1) 主な渉外事項

(1) NPO大阪府高齢者大学校・校友会関係

- ①5月22日、高大総会に参加
- ②5月26日、大阪アクティブシニア協会総会に参加
- ③5月29日、区民カレッジ総会に参加
- ④7月13日、高大スポーツ交流会打ち合わせ、
- ⑤8月27日、夏の音楽祭、～エル大阪、5人鑑賞参加
- ⑥10月2日、大阪マラソンリーダー—会議、
- ⑦10月12日、高大スポーツ交流大会、エリオンアリーナ（府立体育会館）
警備担当、体力測定、3種スポーツ参加、10人
- ⑧10月30日、第5回大阪マラソン、給水ポイント、40人参加
- ⑨高大受講生との交流会、
11月24日、子ども科学コース、笹原講師他、
10月3日、国際文化コース、島貫講師他、
10月5日、家族と社会に役立つサポートデザインコース、新鞍講師他、
1月25日、家族と社会に役立つサポートデザインコース、笹原講師他、
1月26日、子ども科学コース、笹原講師他、
2月20日、国際文化コース、笹原講師他
3コース共、笹原理事長から府SA連協の概況説明の後、受講生と交流会を実施。
- ⑩11月29日「生き生きシニア活動顕彰」を大阪府高齢介護室の推薦により6団体が
顕彰され50,000円受領。
SA藤井寺、SAはびきの、SAとよなか、SA箕面・豊能、
SAいけだ、SA四条畷
- ⑪12月15日、高大祭（吹田メイシアター）、パネル出展、
- ⑫3月4日、高大冬の音楽祭～京橋（すばるホール）、8人鑑賞参加。
- ⑬3月9日、アクティブシニアフェスタ2017（北区民センター）、
パネル出展、歌体操、福祉IT出品。
- ⑭高大SA成果発表会、～各入会促進、PR。
交流会は、SAの紹介のみに留まった。
3月上旬には高大Vコンセルジェ主体の説明会に参加して会員募集に努力した。
（笹原、新鞍）
- ⑮3月23日 高大卒業式が、中之島の大阪国際会議場で開催。
校友会参加の笹原理事長、新鞍副理事長が招待され卒業を祝福した。

(2) N P O 法人大阪区民カレッジ

新しい人材の参加が欠かせない。その為にも、今年 195 名の修了生を送り出され、来年はそれ以上の修了生を輩出される「区民カレッジ」とのコラボレーションが大阪市 S Aにとって必須条件と思い、お願いした結果 5 月 16 日城東校、6 月 20 日北校、7 月 11 日中央校、12 月 5 日西校において、大阪市 S Aの活動紹介とおもちゃ作りに依るボランティア体験をしてもらう 2 時間を持つことができ、修了後の地域活動に参加して頂くことを理解して頂けたのではと思っている。

今年も、区民カレッジ修了式に招待され、その際 5 分間の会員募集の為のスピーチが与えられた。

新入会者は現時点(3/23 現在)で 9 名ですが、これに懲りず今後も区民カレッジとより一層関係を深め、新しい人材の参加を募る所存である。(府民カレッジは今年は 39 名でした)

(3) N P O 大阪府北部コミュニティカレッジ(O N C C)関係

今年度より O N C C との連携を密にするため、大阪府 S A 連協の窓口として笹原理事長とした。

- ①平成 28 年 4 月 5 日 入学式に出席
- ②平成 28 年 7 月 26 日 O N C C 理事と S A 連協北ブロック部会との交流会に参加
- ③平成 28 年 11 月 1 日 S A 認定式に出席
- ④平成 28 年 11 月 16 日 ふれあい交流会(文化祭)に参加(吹田メイシアター)
パネル展示: 高槻、茨木、吹田、豊中、箕面・豊能各地区 S A
おもちゃ作り: S A 吹田(展示説明)、
- ⑤平成 28 年 11 月 24 日 地域福祉 S A 養成講座生との交流会 S A 連協北ブロック 5 地区 S A が参加
- ⑥平成 28 年 11 月 30 日 O N C C 4 周年記念式典に出席
- ⑦平成 29 年 1 月 26 日 地域福祉 S A 養成講座との交流会で S A 連協北ブロック関係者が入会勧誘
- ⑧平成 29 年 2 月 16 日 地域福祉 S A 養成講座の成果発表会に出席
- ⑨平成 29 年 3 月 6 日 卒業式に出席

以上の活動により、・箕面豊能(6)、豊中(7)、・吹田(1)、・茨木(2)、高槻(2)合計 18 名の入会成果があった。

今後は更に S A 養成講座生の入会率を高めるため、O N C C 理事との定期的な会合を設けるべき。

例・S A 養成講座生に対して S A による出前講座

- ・S A 養成講座生に対して 6 月頃に S A プレゼン紹介
- ・S A 養成講座生を地区 S A 活動と一緒に体験活動してもらう 等

(4) NPO法人アクティブシニア協会

アクティブシニアフェスタ 2017 が平成 29 年 3 月 9 日大阪市立北区民センターで開催され府 S A 連協からは歌体操部会が出演し好評を博し、福祉 I T 部会が授産所製品を販売し成果を上げた。

また、府 S A 連協のパネル展示と来訪者への P R をした。今回から、大阪府・市の老人クラブ連合会を協賛団体に加えて、来場者増への取り組みが行われたが、一般来場者は少なく、協会登録団体の役員関係及び出展団体の関係者が多く来場されたようであった。

今年も「アクティブシニアがあふれる元気な大阪事業」を大阪府から受託して、府下 6 土木事務所管内ごとに行われ、府 S A 連協は 2 地区受託し、実施内容がよかったので好評だった。

(5) NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

府 S A 連協のおもちゃ部会は、従前の初級おもちゃ教室を承継しているが、ネット大阪の「おもちゃ教室」は、中級の内容で、府 S A 連協の地区 S A 会員も参加し、それを持ち帰り地元での活動に役立てている。また新しい「おもちゃ」に挑戦し努力されている。

2. 福祉 I T 部会

部会長 榎本 龍彌(S A いけだ 21 年)

I T 技術の利活用により、授産施設(障がい者のための福祉事業所)で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う

その為に、サイト「福祉夢ひろば」(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>)を運営する。

① 例会/研修会

- ・定例会：10 回開催。原則として毎月第 4 月曜日 午後 1 時 30 分～
大阪市立総合生涯学習センター ネットワーク・ラボ

- ・福祉ボランティアの実践に関する相互研鑽とイベントへの参加準備を行った。

② 福祉夢ひろばに掲載する授産施設の更新と新規授産施設の開拓

- ・平成 28 年度は新規授産施設の開拓はなく、2017 年 3 月時点で授産施設 27 施設と授産ショップ 4 店をサイト「福祉夢ひろば」に掲載している。

③ イベント時に授産製品の展示・即売会を無償で実施し、併せて障がい者の社会参加の推進を図った。

- ・トラックフェスタ 2016 (2016.10.16 万博公園(吹田市)で開催)

授産施設 1 カ所が製品を展示・販売。さらに、3 施設の授産製品を出展/販売代行した。

売上高 約 36,000 円

- ・第 39 回障がい者作品展 (2016.11.12 ビッグ・アイ(堺市)で開催)

授産施設 1 施設の製品を出展/販売代行した。

売上高 約 4,000 円

- ・総合フェスタ 2016 (2016. 11. 23 総合生涯学習センター (大阪市) で開催)
授産施設 6 カ所が製品を展示・販売、ならびに紙漉きの体験教室を実施した。さらに、4 施設の授産製品を出展／販売代行した。
売上高 約 84,000 円
- ・高齢者大学同窓会連協第 9 回文化祭 (2017. 2. 24&25 メイシアター (吹田市) で開催)
授産施設 2 カ所が製品を展示・販売。さらに、5 施設の授産製品を出展／販売代行した。 売上高 約 87,000 円
- ・アクティブシニア・フェスタ 2017 (2017. 3. 9 大阪市立北区民センターで開催)
授産施設 2 カ所が製品を展示・販売し、3 施設の授産製品を出展／販売代行した。
売上高 約 42,000 円

④ 広報活動

- ・会員の活動を相互に知らせあい、かつ外部にも発信すべく、福祉 IT 部会のブログ (<http://fukushi2yume.blog120.fc2.com>) を運営しているが、記事の更新はできなかった。
- ・当部会の活動を紹介するパンフレットを更新し、2017 年 1 月末に発行した。
- ・ネットワーク・ラボ主催のセミナーで「簡単にできるブログ」の講習会 (Part I、Part II) を 2016 年 6 月、7 月に実施した。受講者数は Part I が 22 名、Part II が 14 名であった。



3. 都市環境部会 (エコップ部会)

部会長 和佐 義顕 (S A いけだ 19 年)

【活動計画】

- ① 定例会：大阪府都市整備部との意見交換会 (5 月) を含み、年間 5 回開催。
- ② 企画：1) キッズファームプロジェクト (5 回) への参加協力 (於・服部緑地公園)
2) 環境、防災関連設備の見学会
3) 啓発活動；連協理事会でのプレゼンテーション

【活動実績】

・登録部会員 5名体制（大阪市・はびきの・四条畷・いずみ・いけだ）

1 定例会（エコップ部会）；4回実施

- ①6/15 大阪府都市整備部との意見交換会
- ②8/3 見学会等の打ち合わせ
- ③12/19 今後の部会計画について
- ④3/31 今年度 まとめ、来年度への意見交換

2 以下項目を企画し実施した。

- 1) キッズファームプロジェクト 5回シリーズ
5/28 ・7/23 ・8/27 ・10/1 ・10/29（修了式）
- 2) 大阪府北部広域防災拠点（万博公園内） 見学会
9/21 15名参加 ⇒ 転落事故発生のため途中で中止する。後日検討。

3 課題；

- 1) 部会員の増員⇒各地区 SA 共、関心が低く、全体活動に繋がっていない



大阪府北部広域防災拠点（万博公園内）

Ⅲ.交流活動部

部長 木場 昭和子（大阪市 SA 18年）

交流活動部は、歌体操部会・おもちゃ部会・支援活動部会の3部会構成で運営している。それぞれの部会で、勉強会、研修会を開催することで、技術の向上を図ることが出来た。

又、府SA連協の年間スケジュールを作成し、理事各位に配布し部会、イベント等解りやすくした。

1.歌体操部会

部会長 藤川 安高(S A吹田 19年) 他 19名

- 1) 第 5 研修室で開催した。歌体操の実技を通して技術の向上を目指し、各ブロックが順番に実技の発表を行い学ぶことが出来た。
- 2) ブロック交流会（北・中・南）活動の一環として研修会を実施して、ブロック内の交流を図り親睦を深めることが出来た。他の地区を見学することで、繋がりが緊密になって良かった。
- 3) 全体のイベントとして、3月16日に「府S A連協歌体操フェスタ2017」を堺市総合福祉会館6階にて開催し、大阪府内全域から30チーム439名の参加があり盛会であった。
- 4) 3月9日アクティブシニアフェスタ2017にも府S A連協歌体操部会として29名が出演し、府S A連協をアピールすることが出来た。

定 例 部 会			
時間帯：10時～12時、場所：大阪生涯学習センター 5階研修室			
	月 日	参加者	内 容
1	4月25日	14名	自己紹介、活動計画、部会長・副部会長選出 地区別交流会決めるアンケート
2	5月25日	17名	中ブロック当番の実技研修
3	6月22日	18名	北ブロック当番の実技研修
4	7月25日	18名	南ブロック当番の実技研修
5	8月22日	19名	中ブロック当番の実技研修
6	9月26日	18名	北ブロック当番の実技研修
7	10月24日	19名	南ブロック当番の実技研修
8	11月28日	20名	中ブロック当番の実技研修
9	12月12日	15名	北ブロック当番の実技研修
10	1月23日	19名	フェスタ2017の役員選考準備と打ち合わせ
11	2月27日	20名	フェスタ2017の役員の役割再確認
12	3月27日	20名	一年の反省 来期への改善点

各ブロック地区歌体操研修交流会				
月 日	時間	場所	参加者	ブロック
8月25日	13:45～16:00	堺市総合福祉会館	165名	南ブロック研修交流会
10月8日	13:00～16:00	枚方公民館ラムール	73名	中ブロック研修交流会
11月30日	13:45～16:00	吹田南千里センター	163名	北ブロック研修交流会

歌体操フェステ 2017			
月 日	時間	場所	参加者
3 月 16 日 (木)	11:00~16:20	堺市総合福祉会館 6 階	439 名

☆今後の課題

- ・歌体操を理解して頂き地区理事、役員の協力を得て全地区に広めたい。
- ・歌体操部会の定例会の会場費（4,700 円）をどうするか。現在 100 円部会費を頂いているが、増額しなければ継続が難しい。



2.おもちゃ部会

部会長 島田 道子(S A守口 14年)

おもちゃ部会の活動は回を重ねる度に活発化し、毎回 部会員も増えてきている。ブロック別のおもちゃ交流会も各ブロック特色ある研修会になっている。

定例おもちゃ部会				
会場：大阪社会福祉指導センター 地下1階、				
開催：おもちゃ部会 偶数月 第2火曜日				
書記：三橋与作（北B：高槻）、会計：中西弘子（中B：大阪）、松島登志子（堺）				
講師：ブロック（南 中 北）ごとに交代で実施、 参加料：1回当たり 200 円				
	月 日	作 品	講 師	参加者
1	6 月 14 日	ブローチ（新聞紙の広告使用）	S A守口 島田道子	17
2	8 月 9 日	さんとりー	S A八尾柏原 井上勝	20
3	10 月 11 日	バックコサージュ	S Aはびきの 池内日出子	17
4	12 月 13 日	くるくる人形	S A高槻 三橋与作	15
5	2 月 14 日	やっこさんの箱	S A大東 野口紀子	13
6	4 月 4 日	ルーキュービック	S A河内長野 小柴好子	18

ブロック別おもちゃ交流 研修会			
月 日	ブロック	場 所	参加者
10月20日	北	吹田アイワステーションビル	26名
11月3日	中	府立寝屋川公園	32名
11月23日	南	羽曳野福祉会館	

【参考】

・おもちゃ教室 年6回（奇数月 第3火曜） 1:30～3:30

主催： NPO ネット大阪

会場： 大阪社会福祉指導センター 地下1階

教室はどなたでも興味のある方参加自由

☆その他

29年1月25日 NPO 高齢者大学校へ出向きおもちゃ作りを実演



3.支援活動部会

部会長 木場 昭和子（大阪市 SA 18年）

当部会は、歌体操を継続させ、更には発展させて行くために必要な次期リーダーの育成と、高齢者施設への歌体操ボランティア活動のスキルアップに取り組んできた。現在では、新規高齢者施設へのボランティア活動も増えている。

毎月1回第2木曜日（13:30～15:30）に大阪市生涯学習センターの研修室で開催される中央研修会では、3ヶ月に1回外部講師の指導を受けている。それを支援活動部の専任講師がフォローアップをして、地区の講師に繋げている。新しい曲を覚え、地区研修会でその指導に当たり、ブロック交流会・歌体操フェスタ等で発表できるのも、楽しみの1つであろう。

現在中央研修会には地区で推薦を受けた29名が参加している。

もう一つの任務は、活動を円滑に行う為に助成金獲得の任務がある。平成28年度は「熊西地域福祉振興財団」より、50万円の交付を受けることが出来た。まずはボランティア

活動に行っていたいでいる方への謝金と、地区研修会を実践している方への講師料に当てる事にした。

会場費は、皆さんから毎月500円を支払っていただいている協力金を当てることとする。歌体操部会の会場費は、100円の部会費と足りないところは助成金で決算が出来る。平成28年度はどうか、これで運営はできるが、平成29年度は助成金を獲得できていない。

3月の定例会の際、参加者と話し合いをした。謝金はお支払いが出来ない。500円の協力金を支払っても中央研修会を続けて行きたいと思いませんかと、尋ねたところ全員が続けたいとの意見でしたので、継続することにした。

29年度の中央研修会を開催する場合、協力金で会場費は支払いが出来ますので、専任講師、副専任講師に指導をお願いして、続けて頂くこととした。



☆今後の課題

- ・ボランティアの活性化を図るためには、各地区SAで助成金を獲得し、補助が出来る様になると、色々なボランティアに取り組みやすくなると思いますので、各地区での申請を広めて行きたい。

IV. 広報部

部長代行 松本 勉 (SA 茨木 20年)

【活動目的】

- ・府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
- ・地区SA活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
- ・広域活動、助成金情報のホームページ、ブログなどによる共有化を図る。

【活動報告】

1. 機関誌「シルバー通信」を6月に発行した。
活動報告、活動計画を掲載して年次報告を行った。

2. ブログの更新が頻繁になり、日常の活動予定や諸活動報告が掲載され、充実してきた。
3. 校友会共同機関誌の休刊に伴い、高齢者大学校機関誌「れいんぼー」に寄稿した。
4. 府 S A 連協の活動を紹介する P R チラシの改訂を行った。諸イベントにおいて積極的に活用した。

1. 広報誌部会

部会長 松本 勉 (SA 茨木 20 年)

【活動目的】

- ・ 文書情報での対外、対内への情報発信 (情報誌・P R チラシ等)
- ・ S A ファンづくり・地区 S A の活性化 (情報誌・P R チラシ等)

【活動報告】

1. 高大機関誌「れいんぼー」に、府 S A 連協より寄稿した。
 - ・ 3 3 号 (5 月発行) 理事長入学祝辞、府 S A 連協紹介、地区 S A の紹介
 - ・ 3 6 号 (1 月発行) 理事長年頭挨拶、20 地区 S A の概要一覧
2. 府 S A 連協機関誌「シルバー通信」の発行。
 - ・ 年 1 回の発行とし、会員全員に配布されるこの機関誌を通じ、前年度の活動報告と新年度の活動を知ってもらうよう年次総会資料と同等内容のものを、新体制が固まった 6 月に発行した。
 - ・ 渉外部の尽力により発行スポンサーがついて、カラー印刷の見やすい紙面の提供ができた。
3. 外部関連団体イベントに参加してのパネル展示にて P R 活動を行った。
 - ・ 「ONCC ふれあい交流会」 12 月 15 日 吹田市メシアター
 - ・ 「高大祭」 12 月 15 日 吹田市メシアター
 - ・ 「アクティブシニアフェスタ 2017」 3 月 9 日 大阪市北区民ホール



2. ブログ研究部会

部会長代行 松本 勉 (SA 茨木 20 年)

【活動目的】

ブログを使って、府 S A 連協および各地区 S A の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動報告】

年度前半で無料会場が閉鎖されるも、大阪市 S A の会員の厚意で無料会場の提供を受ける。また、部会長（兼講師）の急逝により閉会（休会）の危機もあったが、全会員の熱意で継続を決定し、地区への普及の拡大とスキルの向上を目指す。

28 年度は、部会は日程的にはほぼ予定通り開催できたが、地区の拡大の面ではむしろ縮小気味だったことは、課題を残した。

地区 S A の P R チラシをブログに集約記載することにより、地区 S A の入会促進の支援を目指した。

【今後の課題】

ブログを使った活動紹介は、各地区 S A の努力によって頻繁に提供することができた。

しかし、更新が停滞している地区も多々あり、全地区へ展開するまでには道は遠い。ブログはネット上で閲覧されることから、部内への情報発信に留まらず、公器としての機能を活用して行くように心がけたい。

3. ホームページ管理部会 （理事長、広報部長）

【活動目的】

- ・府 S A 連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。
- ・ホームページの刷新を図る。

【活動報告】

1. 各地区 S A のホームページ（地区概要）の刷新は、ページフォーマットを共通にすべく暫時行ったが、未だ一部更新作業が滞っている。
2. 理事会、部門会ならびに各部会の議事録は月次更新が望ましいが、更新作業要が一人のため随時更新とした。

【今後の課題】

- ・外部委託も含めた H P 更新者の発掘と内部会員のスキルを養成する。
- ・ H P サーバーのアクセス I D、パスワードの保管方法の検討と制度化。
（広報部長の急逝により、保管管理の不備が顕著化した）



V. 会 計

会計 高林 光睦 (SA 四条囀 20 年)

平成 28 年度大阪府 S A 連協会計決算

期間 (平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日) (単位: 円)

科 目	27 年実績	28 年予算	28 年実績
【収入の部】			
前年度繰越	152,511	86,184	86,184
会費	178,600	176,000	181,200
利息	39	20	16
寄付・雑収	6,620	4,800	8,800
おもちゃイベント	20,000	0	150,000
広報誌広告収入	0	0	49,500
収入合計	357,770	267,004	475,700
【支出の部】			
活動費	35,000	25,000	30,000
負担金	33,432	20,000	18,080
事務費	58,421	52,000	34,984
歌体操	37,000	15,000	15,000
おもちゃ	16,600	15,000	15,000
ブログ・ホームページ	25,693	10,000	1,651
福祉 I T	12,600	12,600	12,000
シルバー通信	30,948	35,000	52,019
「れいんぼー」負担金	16,192	10,000	0
P R 資料他	5,700	10,000	10,946
おもちゃイベント経費	0	0	71,530
予備費	0	20,000	15,120
			3,000
支出小計	271,586	224,600	279,330
繰越金	86,184	42,404	196,370
支出合計	357,770	267,004	475,700

以上の通り本年度の会計決算を報告します。

平成 29 年 4 月 3 日

事務局長 中島英征 ㊞ 会 計 高林光睦 ㊞

会計監査報告書

上記 会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。
その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告致します。

平成 29 年 4 月 1 日

会計監査 松田嘉威 ㊞ 中川明子 ㊞

29年度活動計画

29年度役員体制

理 事 長	新 鞍 清 彦	2 2 年	大阪市
副理事長兼渉外部長	鈴 木 紀 男	2 3 年	ひらかた
副理事長兼交流活動部長	中 島 英 征	1 9 年	茨木
副理事長兼広報部長	松 本 勉	2 0 年	茨木
事務局長	木 場 昭和子	1 8 年	大阪市
会 計	下 川 順 夫	1 7 年	高槻
書 記	杉 元 亨	2 2 年	松原会
事務局次長	元 坂 道 幸	1 0 年	河内長野
事務局次長	戸 田 喜美代	2 1 年	箕面・豊能
顧 問	笹 原 義 正	2 2 年	吹田
会計監査	中 川 明 子	1 7 年	いずみ
会計監査	高 林 光 睦	2 0 年	四条畷
福祉 IT 部会長	榎 本 龍 彌	2 1 年	いけだ
都市環境部会長	和 佐 義 顕	1 9 年	いけだ
歌体操部会長	藤 川 安 高	2 1 年	吹田
おもちゃ部会長	島 田 道 子	1 4 年	守口
支援活動部部会長	木 場 昭和子	1 8 年	大阪市
広報誌部部会長	松 本 勉	2 0 年	茨木
ブログ研究会部会長	松 本 勉	2 0 年	茨木

1.活動方針 ～地区 S A の活性化への貢献活動～

- (1) 各地区 S A の高齢化に対処するため、府 S A 連協としては地区 S A の活性化に寄与すべく一番重要な業務と位置づけます。特に、理事会開始前の時間を利用して各地区 SA の事例発表の場と講演会を約 50 分間持ち、地区 SA の情報交換の機会を増やし、地区 S A の行事事例の発表を参考にし、その発表事例を各地区 S A が良いところ採用して地区 S A の活性化に努める様にします。
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る
 高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジの S A 養成講座生の全生徒の 10% 入会を図るべく取り組む。新規会員を受け入れる場合の新規貢献活動先の開拓と整備に努め、その為に積極的に意見具申や情報交換をしていく。また府高齢介護室との関係を強化する。
- (3) 新規会員増の取組について
 府 S A 連協全 20 地区 S A の会員が少しでも増すため、新規地区 SA（東大阪地区）の立ち上げをする。
- (4) 貢献活動先の開拓（幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販店舗等）新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現する早道なので、お互いに情報交換に務める事。（新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の構築は重要です）
- (5) ニッセイ顕彰金制度について
 今年も 6 地区が対象で実施される予定。ついてはその 50,000 円の資金を利用してイベントの計画を実施の事。
- (6) イベント等の委託事業（広告も含む）について
 委託事業を積極的に取り込み実施することで、地区 SA 組織の活性化に努める。

2.活動計画

(1) 定例会

地区 SA 発表会及び講演会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00～13:50 開催
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00～15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 15:00～17:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 理事会日の奇数月の午前 10:30 開催
各部門会	年 6 回 理事会日の偶数月の午前 10:30 開催

各部門・部会の活動計画

I. 渉外部

1. 渉外部

【活動目的】

平成28年版高齢社会白書では平成27年10月1日現在、65歳以上の高齢者人口は3,392万人、高齢化率26.7%になりました。少子化対策による向上も進まず、ますます高齢者人口は増大し、高齢者が高齢者を支える時代に入ります。

シルバーアドバイザー（以下SAと呼ぶ）の役割が地域の担い手としての必要性が益々増えていきますが、残念ながら地域も、各地区SAも後継者不足に直面し、後継者不足を補う対策が求められています。

行政・諸団体との友好をより深め、SAの周知とボランティア会員の増員対策を進めて参ります。

【活動計画】

次に掲げる、行政・学校・姉妹団体に定期訪問をし、友好を深め、理解と各地区SAに会員紹介を依頼します。

1) 行政機関

大阪府福祉部高齢介護室介護支援課地域支援グループ
各市町村市民活動課・高齢介護福祉課等
大阪府社会福祉協議会・各市町村社会福祉協議会

2) 各種学校

NPO 法人大阪府高齢大学校・校友会（略称高大・校友会）
NPO 法人大阪区民カレッジ（略称区民カレッジ）
NPO 法人大阪府民カレッジ（略称府民カレッジ）
NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ（略称ONCC）

3) 姉妹団体

NPO 法人大阪アクティブシニア協会（略称OASA）
NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪（略称SA・ネット大阪）

2. 福祉IT部会

【活動目的】

IT技術の利活用により、授産施設（障がい者のための福祉事業所）の認知度を高め、併せて授産施設で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う。そのために、サイト「福祉夢ひろば」（<http://fukushi2yume.web.fc2.com>）を運営する。

【活動計画】

- ① 掲載授産施設／ショップの拡充と掲載ページの充実
 - ・掲載を希望する施設／ショップのページを作成し必要なリンクを設定し公開する。
 - ・サイトのホームページ並びに施設掲載ページの更新を行い掲載情報の鮮度を保つ。
 - ② 部会員／サポーターの活動能力のレベルアップ
 - ・大阪市立総合生涯学習センターのネットワーク・ラボで例会を原則月1回開催し福祉ボランティアの実践とIT技術に関する相互研鑽を行う。
 - ③ 各種イベントで授産製品の展示、販売を企画・実施
 - ・大阪府内で開催される各種イベントに参加し、「福祉夢ひろば」のサイトに掲載して授産施設の製品を展示・販売する。
 - ・上記展示・販売に授産施設の利用者（障がい者）の方々の参加を呼びかけ、障がい者の社会参加の推進を図る。
 - ④ 外部関係機関との連携と広報活動
 - ・大阪市立総合生涯学習センター及びネットワーク・ラボ加入団体との連携を図るとともに、ラボ主催の大阪市民向け講座(ネットワークサロン)で「みんなで楽しく歌おう」(大型スクリーンで歌詞を見ながら、ピアノの生伴奏に合わせて参加者全員でナツメロ・抒情歌・童謡などを歌う)を開催する。
 - ・「福祉夢ひろば」のパンフレットを定期的に更新する。
 - ・各種イベントで授産製品の展示・販売と併せて「福祉夢ひろば」の活動を紹介する。
- 【活動予算】(申請額)**
- ・12,600円(平成28年度と同様、ネットワーク・ラボの会議室年間使用料18,600円の内、6,000円は部会の自己負担とする)

3.都市環境部会(エコップ部会)**【活動目的】**

私達の住んでいる地域の環境に目をやり、住みよい地域、安心・安全で幸せな地域づくりに、啓発活動を通して、貢献することを目的とする。

【活動計画】**① 定例会**

大阪府都市整備部との意見交換会(5月)を含み、年間4回開催。

② 企画

1. キッズファーム(5回)への参加協力(於・服部緑地公園)未定
2. 見学会: 案件や日程等は、別途部会にて計画する。

大阪府北部広域防災拠点 見学会(万博公園内・昨年中断した場所)

大阪府南部広域防災拠点 見学会(りんくうタウン内・最寄駅 垂井駅)

兵庫県人と防災未来センター(最寄駅; 阪神電車岩屋駅) 17日(無料)

砂防施設「亀の瀬地すべり」(最寄駅; JR大和路線 河内堅上駅) 6/3 予定

<課題>

- 1) 部会員の増員⇒各地区 SA 等関心度に温度差があり、全体活動に繋がっていない現状。
- 2) ブロックでの対処可能な地域土木事務所との協働の検討⇒地区から地域への展開。

II. 交流活動部**【活動目的】**

交流活動部の組織力の強化を図るため、各地区相互の交流を活性化させる。
その為に、助成金の獲得に努める。

【活動計画】

1. おもちゃ部会、歌体操部会、支援活動部会の勉強会、研修会を実施し、技術の向上を図る。
 - ① 歌体操部会は、毎月 1 回(第 4 月曜日)に開催する。
 - ② おもちゃ部会は、偶数月(第 2 火曜日)に 1 回開催する。
 - ③ おもちゃ教室は、奇数月(第 3 火曜日)に 1 回開催に参加する。
 - ④ 支援活動部会は(時期リーダー育成のため)毎月 1 回(第 2 木曜日)に中央研修会を開催する。
2. おもちゃ部会、歌体操部会の(北、中、南)ブロック交流会を年 1 回開催する。
おもちゃ・歌体操ブロック交流会(北、中、南)は、各担当地区を持ち回りで実施する。
3. 全体の歌体操イベントとして「大阪府 S A 連協歌体操フェスタ 2018」を 3 月頃開催予定。大阪府内全域から、出演者を募集する。

【S A 連協の財政改善に寄与する】

- ・「大阪府 S A 連協歌体操フェスタ 2018」のチラシに後援名義取得し後援金取得に努力
- ・部会活動の一部を有料化する。
(おもちゃ部会費 1 回 200 円、歌体操 300 円、中央研修会 1 回 500 円)

1. 歌体操部会**【活動目的】**

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上、普及、親睦を図っていき、更に中央研修会とも連携して活性化を図る。

【活動計画】

1. 部会は毎月 1 回 年 12 回 第 4 月曜日 午前 10 時～12 時
前半会議と後半実技の研修を行う。
2. 地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年 1 回は実施する。

- 3.その集大成として大阪府下の歌体操仲間と「S A連協歌体操フェス 2018」を3月に実施する。
- 4.部会活動の運営費を負担するため一部を有料化する。
- 5.他の行事、アクティブシニアフェスタの演芸部門等に部会として積極的に参加する。

2.おもちゃ部会

【活動目的】

各地区の活動の活発化、情報共有を図るとともに親睦を深めたい。

【活動計画】

- ①従来通り隔月1回、部活動を実施する。
- ②講師を新しい方をお願いする事により、新講師の発掘及び講師の養成を図る。
- ③部会員の活動の実践場所を広げ、イベントなどに部会として参加できるようにする。
- ④ATC親と子ども教室に参加し交流活動を活発化したい。
- ⑤おもちゃ教室とも交流活動を活発化したい。

- ・会場 大阪社会福祉指導センター 地下1階
- ・開催 おもちゃ部会 偶数月 第2火曜日 PM 1:30~3:30
おもちゃ教室 奇数月 第3火曜日 PM 1:30~3:30
- ・会費 昨年度と同様に 1回 200円 徴収

3.支援活動部会

【活動目的】

- ・部会活動の活性化と、中央研修会、地区研修会を実施して高齢者施設へのボランティア活動の推進を図る。

【活動計画】

1. 部会活動を強化するため、助成金の獲得に努める。
2. 歌体操中央研修会を毎月1回開催して、地区研修会のできるリーダーを養成する。
 - ①3ヶ月に1回位、外部講師をお招きして、研修会を開催する。
外部講師の研修会をビデオに録り、DVDにして希望者に頒布する。
 - ②高齢者施設ボランティア活動の実践。
 - ・高齢者ボランティア活動の新規開拓を図る。
 - ・質の高いボランティア活動を目指す。
3. おもちゃ部会員のボランティア活動の実践場所を確保する。

Ⅲ. 広報部

- 1 渉外部を通じて、高大内にパンフレットスタンドの常設を要望し、受講生向けの連協や地区 S A のパンフレットを配布する。
2. 機関紙誌「シルバー通信」の発行並びに高大機関誌「れいんぼー」への寄稿し P R 活動をする。
3. ホームページ・ブログ等のネットワーク情報を活用し、タイムリーな広報活動を目指す。

1. 広報誌部会

【活動目的】

1. P R チラシ等の文書情報での情報発信・情報誌
2. P R チラシ等・情報誌) S A ファンづくり

【活動計画】

1. 機関誌「シルバー通信」を 7 月に発行する。
2. 高大機関誌「れいんぼー」に寄稿して、受講生向けの P R を行う。
3. P R チラシを改定発行して、友好団体の行事で配布する。
 - ・高大関連行事、
 - ・ONCC 関連行事、
 - ・アクテブシニア協会関連行事 等

2. ブログ研究部会

【活動目的】

- ・ブログを使って、府 S A 連協および各地区 S A の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

1. 地区ブログ要員の拡大・普及とスキル習得のため、熟練講師に依頼して部会員のスキル向上強化を図る。
2. 部会員の親睦と交流を図るため、研修会後の親睦会を定着化する。
3. ホームページの紹介、S A 会員のグループや個人のブログをする

3. ホームページ管理部会

【活動目的】

- ・府 S A 連協の情報ハブとしてのホームページを目指す。

【活動計画】

1. ホームページ更新の I D やパスワード等の管理は複数人で保管するものとし、管理者については、別途役員会にて取り決める。
2. ホームページの更新は、有料にて委託する。
3. 地区 S A の依頼原稿に基づいて、地区 S A のホームページを更新する。
4. 理事会、部会議事録等の文書はホームページ上での公開をやめて、別途広報部門長の責において保管・管理を行う。

IV.会 計

会計 下川 順夫 (SA 高槻 17 年)

平成 2 9 年度大阪府 SA 連協会計予算

(期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

科 目	28年実績	29年予算	備 考
【収入の部】			
前年度繰越金	86,184	196,370	
会費	181,200	182,000	200 円 x 910 人
利息	16	20	
寄付・雑収	8,800	0	
おもちゃイベント	150,000	0	
広報誌広告収入	49,500	0	
収入合計	475,700	378,390	
【支出の部】			
活動費	30,000	50,000	
負担金	18,080	20,000	
事務費	34,984	40,000	
歌体操	15,000	30,000	
おもちゃ	15,000	15,000	
ブログ・ホームページ	1,651	30,000	
福祉 IT	12,000	12,000	
シルバー通信	52,019	35,000	
PR 資料他	10,946	10,000	
おもちゃイベント経費	71,530	0	
30周年記念誌準備金	0	40,000	
予備費	18,120	20,000	
支出合計	279,330	302,000	
繰越金	196,370	76,390	
合計	475,700	378,390	

地区SAだより

大阪市 S A 便り

歌体操を通じて会員募集例の紹介

会長 新鞍 清彦（大阪市 S A 連協 平成 22 年）

大阪市 S A 連協としては会員の高齢化の為、会員の減少が顕著に数字として表れている現実があり、その解決策としての下記に示した行動の例を紹介いたします。

平成 29 年 4 月 10 日・5 月 8 日・6 月 12 日に、大阪市 S A 連協所属の歌体操クラブの「輝くバラの会」の皆様 6 人と一緒に阿倍野老人福祉センターの計らいで歌体操会員募集の行動を行いました。3 日間共午前 10 時半から（30 人参加）と、午後 1 時半から（25 人参加）と 2 回分けて行われました。

会場に使われた大広間は、むんむんとする雰囲気の中で掲示板に貼られた歌の歌詞に合い合唱し、深呼吸・指体操行い、手指・上肢・全身・下肢の準備体操を行い、「輝くバラの会」代表の梶山良子様のご指導のもと、助手の皆様のご動きに倣いのびのびと歌体操に励んでおり、用意された練習プログラムの最後には全員輪になって「二人は若い」「今日の日はさようなら」で歌体操の体験を 1.5 時間の練習をして終わった時は、皆様は大変良い顔をされ満足そうに帰途につかれました。歌体操のスローガンの一つに「寝たきりにならない」「寝たきりにさせない」「寝たきりにしない」を目標として、活動していることを、参加者に語り聞かせておられました。

今回阿の倍野区は住宅が多くあり、阿倍野老人福祉センターの所長はじめ熱心に受講生を集めていただき、其の集客された中で歌体操を教える立場で参加させていただきました。今後は現在で 50 人の参加者に「大阪市 S A」に参加して下さいとお願いの予定です。現在は阿倍野歌体操クラブの会員ですが、其のうちに府 S A 主催の歌体操フェスタに参加して感銘した方々を、来年度の大阪市 S A の会員になっていただく予定です。今後は毎月 1 回の歌体操の練習を通じて歌体操のファンになっていただくべく練習を続け、後日会員になっていただくようお願いする予定です。



参加者全体写真



大広間での練習風景



二人は若いの練習風景



歌体操風景



説明を熱心に聞き入る



歌体操練習風景

S Aいけだだより

障がい者施設「池田三恵園」見守り活動の新聞記事について

当施設へは、「SA いけだ」「池田傾聴 なごみ」の合同研修会として有志 16 名で、平成 26 年 9 月 16 日（火）初めて訪問しました。（注、“なごみ” は、現在 “さつき” に改称しました。）

そのあとは、毎年 9 月 16 日に訪問と決め、翌年、27 年（2015）9 月からは、隔月訪問に改め、平成 28 年（2016）10 月からは、毎月 1 回の定期活動として、これまで、毎月続けています。昨年 10 月訪問の際、施設長の宮脇さんから、産経新聞で連載中の“きずな「三恵園日記」”に支援する側のボランティアの皆さんを取材させてほしい、と要請があり、我々の SA 活動の PR? になると思い、受けることにしました。後日、企画推進本部の和田依子さんから電話があり、内容は、昨年 11 月 8 日（火）の朝刊に掲載されました。（次ページ、記事掲載）

訪問活動は、“こすもす”（重度身障、知的障害等通所の生活介護事業所で日中活動が主体）での見守り、寄り添いの 30～40 分、そのあと、陶芸作業場で（かわら掛け製品づくり）1 時間ほど、計 1 時間半になります。言葉でのコミュニケーションは、無理ですが、表情でのやりとりで、理解ができるようになってきたと思います。まさしく、「和顔愛語」です!!



陶芸作業場での活動

平成 28 年 (2016 年) 1 月 8 日 火曜日 (市内) 22

大阪

OSAKA

社会部大阪総局
 ☎06-6633-9734
 FM06-6633-9738
 豊中駐在
 ☎06-6850-7320
 高槻駐在
 ☎072-674-0770
 吹田駐在
 ☎06-6386-6071
 東大阪駐在
 ☎06-6747-3302
 枚方駐在
 ☎072-841-5575
 富田林駐在
 ☎0721-251-5735
 堺支局
 ☎072-2331-0406
 関西空港支局
 ☎072-456-7220
 広告のお問い合わせ
 ☎6-6341-7355

三恵園日記

きこずまよ

月の中頃になると、障害者支援施設三恵園(池田市に、455人のニアボランティアが訪れ、施設の園芸室で株を手伝うなど、1時間程度を利用者とともに過ごす。メンバーの中心は和佐義典さん(72)で、施設訪問は数年前からだが、「続けることが大事だ」と、この秋も定期訪問を決めた。利用者も和佐さんの来訪を楽しみにするようになった。

「行くはずが、和佐さん(72)が肺炎で入院して、市役所からボランティアとして老人福祉施設を訪ねたり、市のイベントを手作りおもちの作り方を教えてくれて

いる。S Aとは、経験や知識を生かして、地域の仲間といろんなサポート活動をするボランティアのことだ。年退後の「生きがい」のつもりで始めたのがきっかけだ。三恵園を訪れた当初は、言葉で気持ちを伝えるのが苦手な利用者が多く、とっちらかしていいか分からず戸惑ったというが、今は違う。一七五センチでいて、まわりの人々を驚かすほどの存在感がある。和佐さん自身の美談である。「職員が見学で来たとき、お話を聞いてもらって、刺激になった」と話すのは三恵園の言語療法士兼ボランティア(31才)の吉田友子さん(右)だ。外部の視点は面白い。先日、吉田友子さんはボランティアの本音を聞かされた。和佐さんやグループの定期集まりに参加。その中で「本当に役立つところがある。不安定な生活に悩んでいる人、何でも話せる信頼関係を築いてほしい。目標は、障害者と地域との垣根をなくすボランティアの存在を大きくする」(企画推進本部 和佐義典)

社会福祉法人「産経新聞厚生文化事業団」
 (http://www.sankei-fukusi.or.jp) の施設からの報告

産経新聞の記事(2016/11/8)



有志 16 名の訪問時の様子

SA とよなかだより

サンキュー会 市長賞受賞

SA とよなか 宮本靖彦

5月14日10:00より豊中市役所議会棟大会議室において今年度の憲法記念日市長表彰式が行われ私達SAとよなかのサンキュー会も長年に亘る老人施設での合唱指導を認めて頂き市長賞を頂戴しました。

この会はSA11期生が中心ですが、平成11年SAコース修了後、いくつかのボランティア活動に挑戦した。その中の一つが千里中央北の特養グリーンヒルでのシーツ交換、掃除、合唱指導であったが数か月後には、合唱指導に特化した。そこには開園以来カラオケ指導をして居られた吉田和喜子さんが居られたが、ご一緒に合唱指導を始めた。それ以来18年間営々と継続して今に至っている。現在のメンバーは最初からの千野維久子さん、宮本靖彦とやや遅れて参加の服部富栄さんとSA以外では吉田和喜子さん、吉田友子さん、瀬川博さん、岡本幸博さんが頑張ってくれています。

活動するボランティアの施設も長年の間にグリーンヒルの他、緑地公園の「愛和苑」、柴原町の「ゆうむ」、浜の「ふるる」と増えてきました。これで第一、第二、第三、第四の月曜は埋まって居ります。

活動の内容は入所者と一緒に日本の歌、唱歌、古い演歌等の合唱指導と後半は吉田和喜子さんのDVDによる古いカラオケの合唱です。合唱には伴奏が欲しいので外部の出来る方をお願いをして来ました。

入所者とも長いお付き合いですので、親しくなって居り、私達の訪問を待っていただいて居り、お別れの時の「また来てね。」が私達の励ましであります。



南ブロックだより

ブロック長 大川 正彦 (SA藤井寺 平成18年)

南ブロック 6地区 SA 所在地

- ①堺 SA 連協
- ②いずみ SA
- ③SA 松原会
- ④SA 藤井寺
- ⑤SA はびきの
- ⑥SA 河内長野



28 年度南ブロック・交流会



①南ブロック交流会 歌体操部会

28 年 8 月 25 日 (木曜日)

開催担当地区：堺 SA

会場：堺市総合福祉会館 6 階ホール 1 時開演
 出演 12 チーム 延べ 142 名の皆さんと見学の方々が楽しく交流しました。



②南ブロック交流会 おもちゃづくり部会

28 年 10 月 27 日 (木曜日)

開催担当地区：SA はびきの

会場：羽曳野市福祉センター2 階 1 時半開始
 出演 6 地区 34 名の皆さんと楽しく交流しました。



③大阪府 SA 連協『歌体操フェスタ 2017』

3 月 16 日 (木曜日)

開催担当地区：南ブロック・SA 藤井寺

会場：堺市総合福祉会館 6 階ホール 11 時開演
 出演 30 チーム 延べ 447 名の皆さんと見学の方々が楽しく交流されました。



おもちゃづくりフェスティバル (いずみ SA)

S A 藤井寺活動だより

津田 幸子 (SA 藤井寺 平成 21 年)

平成 29 年新年度定例会



市制 50 周年感謝状拝受



※市広報に掲載された
お手玉サークル『遊』
の活動

「春季と秋季 藤井寺市広報に 体験教室 を掲載し市民のみなさんとの
交流を深めています」

◆ 広報体験教室①おもちゃ



◆ 広報体験教室②お手玉



◆ 広報体験教室③リフレッシュ体操



◆ 広報体験教室④太極拳教室



※IT 研修教室



※ディスコン研修会



小学校での総合学習授業～手作りおもちゃ教室～

松本 勉 (SA 茨木 20年)

S A茨木の会員である京極孝夫さん(16年地域)が所属の“太田さくらくらぶ“の要請を受け、総合学習授業として1年生の3クラス・110名を対象に、それぞれのクラスでおもちゃ教室を開催しました。本教室は9年前より例年S A茨木が協力しているものです。

今回のテーマの「割り箸大砲を作る」は授業の中での構成なので、子ども達は1年生とはいえS Aの講師の指導をしっかりと聞いてくれます。また講師の進行に少し遅れ気味の子ども達も、アシスタントとしてスタンバイするS Aのメンバーがフォローアップして進められました。

大砲を作る過程は、2本の割りばしと洗濯バサミとをビニール針金でしっかりと結んでバネにして、ペットボトルのキャップを玉受けとし、台紙を砲台としてセロテープでしっかりと貼り付けて出来上がりです。

全員が完成すると、子ども達を各クラスにおいて3グループに分けて、2.5cm大の発泡スチロールの玉を標的とするポリバケツや洗面器をめがけて競い合います。

先ほどまでは、おとなしくて静かだった子ども達の声が、的の当たりはずれに一喜一憂するたびにヤッター、キャーッ、スゴイー、と教室中に溢れます。その姿を見ながらS Aのメンバーの皆さんの笑顔も教室中に溢れます。

地域の子供たちに元気を貰ったひと時でした。ありがとうございました。





Silver Adviser

シルバーアドバイザー憲章

- 1) 私たち、シルバーアドバイザーは、永年にわたって貴重な知識や経験、技術を培ってきたことに高い誇りをもち、絶えず自らの生き甲斐の高揚に務めます。
- 2) 私たち、シルバーアドバイザーは、永年にわたって培ってきた貴重な知識や経験、技術を活かしながら地域福祉活動を推進してゆくことに務めます。
- 3) 私たち、シルバーアドバイザーは、常に人格・識見の向上と活動を行ううえに必要な知識や技術の修得に励み、社会の信頼を得られるように務めます。
- 4) 私たち、シルバーアドバイザーは、活動に際して、知り得た他人の秘密を漏らしたりすることがないように、十分に注意します。
- 5) 私たち、シルバーアドバイザーは、シルバーアドバイザーの称号を悪用したり、乱用したりすることのないように十分に注意します。

【広告のページ】



ZENROSAI NEWS 2817Z014

たすけあいの思いから生まれた
全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)は
2017年9月29日に創立60周年を迎えます。

60周年の感謝の気持ちを込めて、キャンペーンを実施します。
保障の見直しや確認、新たな保障の検討など、ぜひこの機会に窓口や訪問相談をご利用ください。

60周年記念 ご来店・訪問相談プレゼント

ぜひ
お気軽に
ご相談
ください!

2017年7月31日(月)まで

災害などに対する家の備え、お車の補償、ご家族に必要な保障などなど、
安心の暮らしがずっと続くように
この機会に保障について考えてみませんか?



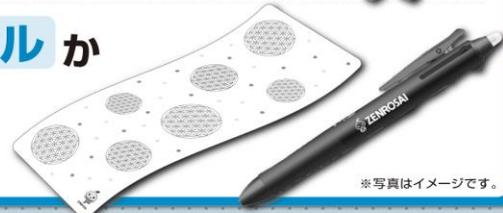
もらえる!

期間中に来店／訪問にてご相談・ご契約いただいた方に、
もれなく全労済グッズをプレゼント!

ご相談で、**保湿ティッシュ** か **フリーザーバッグ** か
ピットくんストラップ
いずれか1つ差し上げます! ※1家族につき1個



さらに **新規ご加入で、ガーゼフェイスタオル** か
3色消せるボールペン
いずれか1つ差し上げます! ※1家族につき1個
※目録費共済を除く



※写真はイメージです。

共済ショップ梅田
〒530-0017
大阪市北区角田町8番1号
梅田阪急ビル オフィスタワー21階
予約優先
ダイヤル **06-6311-5557**
受付時間 月～金 10:00～19:00
土 10:00～18:00
(日・祝、年末年始は休業)

共済ショップなんば
〒542-0076
大阪市中央区難波2-2-3
御堂筋グランドビル3階
tel.06-6214-6688
受付時間 月～金 10:00～18:00
(土・日・祝、年末年始は休業)

共済ショップ谷町
〒540-0012
大阪市中央区谷町2-3-4
サンシャイン大手前ビル1階
tel.06-6943-6336
受付時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝、年末年始は休業)

訪問相談受付中!
お申し込みはお電話で!
窓口までお越しただけいけない場合、ご自宅や職場など、
ご希望の場所で相談ができます。保障のプロである
「訪問担当者」が、わかりやすく丁寧にご説明します。
お気軽に下記フリーダイヤルまでご連絡ください。
☎ 0120-366-456
※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。
受付時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝、年末年始は休業)

共済ショップ江坂
〒564-0052
吹田市広芝町11-14
全労済西日本センター1階
tel.06-6369-1717
受付時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝、年末年始は休業)

共済ショップ堺東
〒590-0075
堺市堺区南花田口町2-3-10
セントラル堺1階
tel.072-233-6312
受付時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝、年末年始は休業)

詳しくは
**全労済
大阪府本部
ホームページへ**

<http://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/osaka.html>
広告番号 289871

保障のことなら
全労済
全労済は、営利を目的としない保障の
生協として共済事業を営み、組合員の
皆さまの安心とゆとりある暮らしを
めざしています。出資金をお支払い
いただいている組合員になれば、各種共済を
全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済大阪府本部(全大阪労働者共済生活協同組合)